

幼稚園から小學校への聯絡

幼稚園と小學校との聯絡といふことは、此の二つの教育過程の間の起る最も必然な問題であり、しかも實際上にいろ／＼の論議の出で居る問題であります。現に去年の全國幼稚園關係者大會に於ける文部省諮問案の中にも、此の問題が出て居ります。それで、廣く各種の方面から考究せられたのであります。そして、此の問題を完全に解決するためには、種々な根本的な考究を要することをも知つたのであります。私共は此の方面に大に力を用ひなければならぬのであります。しかも、ものゝ、根本的方法はなかく一朝一夕にして實現し得ません。そして、其の根本的解決が出来ぬからとて、此の問題の事實上の必要は一日を忽せにすることも出来ないのであります。そこで、編者は此の問題の極めて手近な又實際的な方面として、左の三つの事項につき研究することが、幼稚園側の急務ではないかと思つて茲に左の方々の實行上のお話を伺ひました。

第一項。 幼稚園と小學校との聯絡に關し幼稚園側にて執らるゝ方法。

第二項。 幼稚園最年長組に對し特に如何なる教育を施さるゝや。

第三項。 殊に幼稚園終了前の此の保育期に當つて幼稚園より小學校に移る準備として如何なる注意を與へらるゝや。

大阪市御津幼稚園長

小山ひで

〔第一項〕

世に云ふべくして行はれざる事、數多き中に數

育に關する連絡問題容易らしくして困難なるも

のはありません。

家庭と幼稚園、又は幼稚園と小學校、小學校と中等學校、數へ來れば皆同様の困難であります。

さればとて元より打捨て置くべきこととなく、出來得る限り双方から努力すべきですが、假令一方からでも力を盡せば其の効ひのないことはありません。殊に幼稚園と小學校の間の如き、幼稚園の方が熱心に力をつくしてゆけば、たとへ小學校に於て幼稚園なるものに多くの注意を拂はず、淡々たる態度に出づる様のことがありましても、遂には熱よく冷を動かす理窟で何かしら効果あるに至るものと信ずるので御座います。但し實際はまだ努力の足らざる爲か云れどと好成绩を得たと思ふ事も稀に、誠にお恥しいのでありますが、只實際に行つて居ますことの一二を申上げてお答へします。

一、小學校教員を招待す。

保護者會其他幼兒に關係ある會合に於て小學校の訓導を招待し、幼稚園保育の實況並に方針を知つて貰ひ、且幼稚園と保護者に關する諸般の事を話し合つて他日入學せし際の參考とします。此の

會には小學校教員に都合よき時刻を選びます。此の方法につき只今の處未だ目立つた結果は得ませんけれども、近來小學校の先生方の出席の數次第に増加し、保育に關する疑義質問の澤山出ますのは他日良果を收める基であると喜んで居ます。

一、出身兒體格及び學業成績表を作る。

題目の如きものを作り、毎學期毎に小學校の考查簿を借り該表に記入し、今後の保育の參考とします。

今迄の表の示す所によりますと、學業の方は幼稚園にて優秀又は劣等と認めしものは十中の七八迄其の通りであります。中等程度と思はれた者の中には次第に著しく優て來る者もあります。之れは別に問題はないのですが、幼稚園で心弱く僅の事に泣く、俗に意氣地なしと思はれたものに、操行の優れたるもの多いのは、考ふべき現象ではないかと思はれます。體格については、校醫園醫なるものを今少し完全のものにせられない限りは、

統計も用をなさず、頓と比較研究も出来ません。

一、保姆の小學校參觀。

一ヶ月一二回園務を繰合せ、交替に小學校を參觀、前に該保姆の保育成した生徒の有様は勿論、其他をも參觀して、小學校の教育を知り保育の參考の資とします。

之れは理窟の上からいつても實際から見ても余程有効であります但其度數が多過ぎると弊害を生ずる事がある様です。

一、修了兒の入學時は保姆附添ひ團體として送る。

新入學の際、保育修了兒全體を一旦園に集合させ、更に保姆附添の上、受持教員に渡し、所持品の置場所、其他新入兒として心得ふべき事項を實地につき兒童に知らしめ、且受持教員の新入兒に對する一切の事務を手傳ひます。其傍ら、こちらからも各兒の特性並に其取扱ひ方等、參考となるべき事を受持教員にお話します。斯ういふことを

二三日續けて行ひます。

之れに對し小學校側では至極便利だと喜ばれ、其連絡上の効果多く、且保護者の満足の大なる事想像以外であります。

一、保育臺帳の引渡し。(臺帳とは園籍と個性觀察を含有せるもの)。

入學後に三日の後、つとめて斷定的の語句を用ひず、(假令ば愚鈍とか頑固とか)しかも參考となるべき事項を細記した個性觀察等と、生年月日又は其他家庭に關する事項、並に體格検査の結果等を、明記せる園籍簿とを小學校に送り、且、詳細なる事は別に懇談的に説明いたします。

之れは小學校側の手數を省くの利あり、個性觀察なども充分利用し効果を修めてゐる人が尠くありません。

〔第二項〕

一、年少者を勞らしむ。

最年長の組とて元より善惡の區別を明知する年

齡ではありませんけれども所謂習性とならしめる爲にお辨當の際とか、或は共同遊戯の際とか、機會を捕へ得次第、弱者を輔ける事を實行させます。

一、自治性を養ふ。

年少の組でも、徐々に自治の習慣のつく様指導することは申す迄ありませんが、特に最年長となれば己が身邊のことは勿論、自分の屬する團體の仕事も出來得る範圍内に於て交互に分擔させます。例へば窓の開閉辨當の持運び室内の整頓、尙進みては來客應接室の整頓、年少者の辨當の準備等のこと。

一、注意力をより以上増進せしむる様勉む。

小學校側から、幼稚園に對する批難の第一として數へらるゝものは、出身兒の注意力の缺乏であります。但し其一方に於ては或程度迄、發達し、且活力の満み／＼て居る幼稚園出身兒を扱ふに當り、小學校でそれに適當せる教授訓練をせられる

かと云ふ疑問は、いつも幼稚園側から出る問ひであります。けれども、いづれにしても人格構成の基たる注意力を年少時以上に増進させ小學校教育を容易に且充分有効ならしめるのは最年長兒に對する保姆の責任であります。されば興味により或は習慣により或時は靜肅を保たしめ或時は感官練習により、注意を一點に集注させることを力めて居ります。

一、言語の誤りの矯正。

年少に於ては、まだ舌の廻らざるものもあり、又所謂幼語の必要を感ずる場合もないではありませんが、最年長となれば、特別のものを除く外は、正しき語句を語り得るに至るものでありますから、時に應じて其矯正に力めます。例へば(トウヲ十)を(トヲ)又、(デケマシタ、)を(デキマシタ)(カララ)を(カラダ)といった風であります。但し此等は我地方に於て特に必要を感ずるものかも知れません。

一、體育をなすに當り積極的分量を多くす。

消極的體育も幼児として適當のものかも知れませんが、次第に長じて、身體が著しく發達し來ます時は、其筋骨を或度に於て練るの必要を生じます。されば最年長兒に對する體育としては、保育項目並に時間割等を作成するに當り、最之に留意し、過度ならざる限りに於は多少鍛鍊的な體育法をも實行します。

〔第三項〕

一、保護者への注意

(イ)入學前となりますと、親心として其學業の成績を氣遣ひ、一學年用の書物によつて豫習させるといふ風のこと稀れではありませんから、これにつきて、却て害多く利少なき事を注意します。

(ロ)遅刻缺席を試むる度を強くし、入學後の惡習慣を防ぐ準備とします。

一、音樂の量を減す。

音樂は幼児時代の最大切な課目でありまして、

これにより樂しみ、これにより喜んで居るのであります。が、一朝場所をかへ入學する時は唱歌遊戲教授の外に音樂がなくなり、爲に寂寥を感じて通學を厭ふか然らざるも、さなきだに戦々兢兢たる彼等の小き頭腦に寂しがらせ、荒びたる感情を起さしむる恐れがありますから、入學前三ヶ月頃から徐々に音樂の量を減じます。

一、入學時迄に己が姓名を讀み得るに至らしむ。

新入學の際第一に困難を感じるのには、該校各所に新入生の姓名を貼り、これを目標としてあるにも拘らず、十中二三の兒童はそれが少しも分らず爲にいろいろ不都合を感じる事があります。故に一見自分の姓名である事を知り得る範圍に於て、機を見て誘導します。例へば保育料袋の如き、畫き方帖等同一の形のもので、姓名によつて各兒を區別するものを取らせ、又各兒の姓名を書きたる

札を繙いて、それ拾ひ取る競争をさせ、又黒板に一兒の姓名を書き、書かれし兒はそれを見て起立する等のことを適宜いたします。

一、其他小さな事ですが左に列擧すれば

イ、机の排列を小學校の如くする事。

ロ、新入學後直ちに體格検査に遭遇しますから其準備として、衣服の着脱を己が力でなし得る程度に練習する事。

ハ、前期に比し在室時間を徐々に長くする事。

ニ、在園紀念として一兒一葉宛繪を畫き殘させる事。

ホ、左右、週名等を明確に知らせる事。

ヘ、己が住所父母の姓名を他の問ひに對して、

答へ得る様導く事。

ト、小學校教授に於ける注意力を養成する一助

として保姆のいふことを、なるべく再びせざる様にする事例へば(積木をお取りなさい)と云へば(何をです)と再び聞くとこれに對する答をなさず靜に考へ想起せしむる類。

先づ斯様のことを致して居りますが、考へるより行ふは六かしく、行うても充分効果あらせることは尙ほ六かしく、いろいろ御示教を願ひます。

岡山縣女子師範學校
附屬幼稚園保姆

岡

政

幼稚園教育に於て家庭教育が基礎をなす如く學校教育に於ては又幼稚園教育が一層大切な基礎をなす事は自明の理であります。いや猶進んで幼兒

の人格の構成は此の時期の教育が興り加つて一個の大なる要素をなすのであります。但しこの大切な幼稚園教育は決して別のものではなく教育一系統